

あぎがわ 阿木川ダム防災操作による河川水位低減効果

独立行政法人水資源機構が管理する阿木川ダムでは、7月3日から4日の降雨により、ダムへの最大流入量約217 m³/s を記録し、増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この操作により、阿木川ダムの下流約2.5 kmにある大門地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.91m低減できました。

今回の防災操作

木曾川水系阿木川の阿木川ダム流域では、7月3日から4日にかけて総雨量約147 mmの降雨を記録しました。

この降雨により阿木川ダムでは、毎秒約217立方メートルの最大流入量を記録し、この時に約94%に相当する毎秒約204立方メートルの水をダムに貯留しました。これにより、大門地点ではダムが無い場合と比べて河川水位を推定で約0.91メートル低減できました。

今回の降雨では、合計約164万m³(バンテリンドームナゴヤ約1.0杯分)の水をダムに貯留することで、河川水位の上昇を抑えました。

※ 今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。

令和4年7月7日

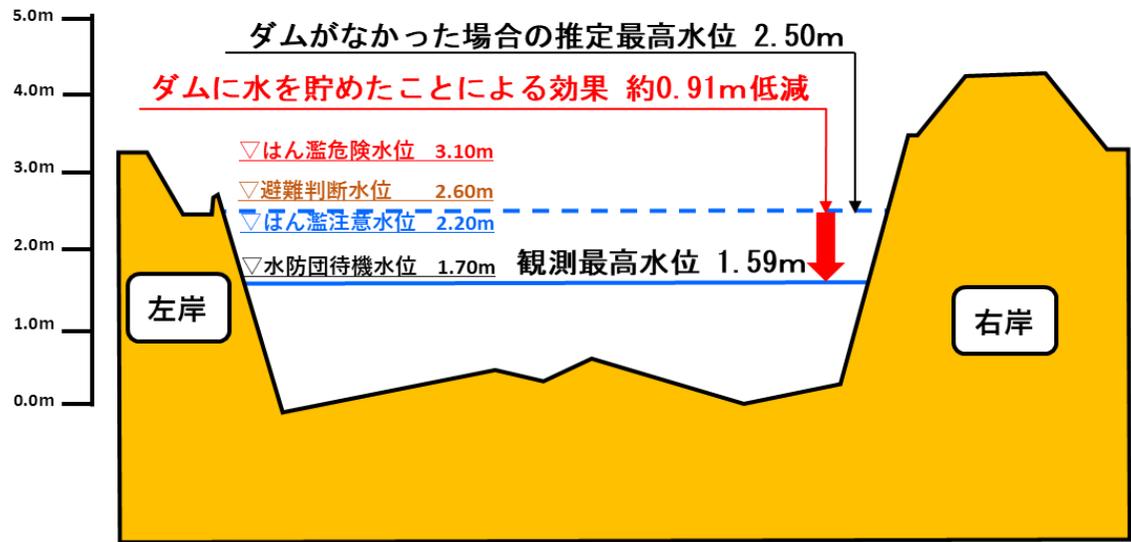


独立行政法人水資源機構

阿木川ダム管理所



大門水位観測所地点 河川断面図（イメージ図）




 河川水位の標記については
 国土交通省HP「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」

大門水位観測所地点 現地写真（洪水前）（令和3年8月11日撮影）



大門水位観測所地点 現地写真（洪水後）（令和4年7月4日16時頃撮影）



阿木川ダム防災操作図 令和4年7月3日～4日

